



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0021
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第277号

平和は許すことから始まるのか

8月8日は北九州地区の平和の集いが開催されます。8月上旬には広島と長崎に原子爆弾が投下された日がきます。広島と長崎、この二つの被爆都市は、平和運動の広島と、祈りの長崎といわれますが、いままでの動きを見るとそのようになっているように思えます。今春、アメリカで開催された核拡散防止条約再検討会議に長崎教区の高見大司教が被爆マリア像を持って行かれたことを覚えていますか。(6月13日カトリック新聞参照)

その時、長崎から数人の被爆者がアメリカに行かれて、現地の人たちに被爆体験を語られましたが、その時に被爆者の話を聞いたアメリカの人たちの態度は二つに分かれました。

一つは、原爆は戦争を終わらせるために必要なものだった。だから原爆の結果は関係ないと事実を目を向けない人たちです。だから彼らは、核兵器は防衛のために核兵器は必要なものと言います。

もう一つは、あまりの悲惨さに涙を流し、核兵器の残酷な結果を認め、核兵器の削減を願う人たちです。

長崎から出かけて行って被爆体験を話している方たちは、原爆を落としたアメリカを責めて責任を求めているのではなく、

このような悲劇が二度と起きて欲しくないとされていると思うのです。

長崎の被爆者たちは、いろいろな場所で自分の経験を話されていますが、原爆の悲惨さを伝えるときに怒りは無いのでしょうか。私は必ずあると思っています。それでも怒りを乗り越えて語られているのではと思うとき、あの方たちの姿勢を見習いたいと痛感します。

今年の平和の集いには、広島教区で『**平和の使徒となろう**』というテーマを、**平和、きょうどう、養成の三つの角度から推進していく平和の使徒推進本部**」で働いているシスターの話があります。祈りの長崎と違って広島教区は、具体的な平和活動をしているのですが、この道も正しい選択だと思うのです。主の祈りには次の言葉があります。「**私たちの罪をおゆるしてください。私たちも人をゆるします**」人を許すことはとても難しいことだと思いませんか。

公文書シリーズ	2面
今、モーセの十戒を読み直す	2・3面
委員会報告	4面
典礼委員会議事録	5面
子どもたちのページ	6面
教会学校のページ	7面

公文書シリーズ 第7回 信徒使徒職に関する教令(1)

公文書シリーズとして、今号から、「信徒使徒職に関する教令」を紹介してゆきます。この教令は、冒頭で、次のように書き始められています。

神の民の使徒的活動をより活発に盛り上げることを希望して、聖なる公会議は、キリストを信ずる信徒に心を向ける。キリスト者としての召命そのものから生まれる信徒使徒職は、教会に決して欠くことのできないものである。

第1章、「使徒職への信徒の召し出し」においては、その主要部分において、次のように述べられています。

教会の中には種々の役職があるが、使命は一つである。使徒とその後継者は、主の名によって教え、聖化し、治める任務をキリストから受けた。キリストの司祭職、預言職、王職にあずかる者となった信徒もまた、教会と世間において、神の民全体の使命における自分の役割を果たすのである。信徒は、福音の宣布や、人々の聖化に尽くすとき、また福音の精神を世間に浸透させ、その秩序を完成するよう働くとき、使徒職を行う。こうしてその働きは、キリストの明らかなあかしとなり、人々の救いに奉仕するものとなる。

第3章、「信徒使徒職の種々の分野」では、教会の諸団体、家庭、青少年、社会環境、国家的国際的領域、という様に、種々の活動のフィールドがあることが、紹介されています。

第4章、「使徒職の種々の方法」；この章が非常に大切な部分です。1つの節で、使徒職が組織的であることの重要性を一般的に述べた上で、次の節で”組織的な使徒職の諸形態”の節となる。

ここでは、使徒職を行う会が種々あり、「①教会の一般的な信徒的目的を追求する、②特に福音の宣教と聖化を目的とする、③キリスト教の精神を世に浸透させることを目的とする、④特に慈善事業を通してキリストのあかしをたてる」と述べられている。

これらの会では、会員の实生活と信仰とのより緊密な一致を強調する会がまず重視されるべきである、とある。続いて、次のように書かれている。これらの会では、世に対する教会の使命に寄与することが目的であり、会の使徒的な活動力は、それが教会の目的に合致しているかどうか、さらに会全体と各会員が持つキリスト教的なあかしと福音的精神如何にかかっている。



「今、モーセの十戒を読み直す」No.3 さいたま教区長 谷 大二司教

そこでモーセの十戒を読んで、あるいは「出エジプト」の文脈の中で読んでいくときに、イエスの視点を基にして私たちは読んで行きたいと思います。まず難民であったということ、それから移住者でもあった、そして移動者でもあった。こういうイエス様の視点から私たち

は出エジプトと十戒を読んで行きたいと思います。

*エジプトの歴史

エジプトは、古くから中央集権化を果たした唯一の国と言っていいと思います。紀元前1800年ごろから1600年ごろには、アジアと南アフリカからたくさんの移住者がエジプトに入ってきます。そこで奴隷として働かされていたのです。イスラエルの民もその中の一つです。1650年ごろイスラエルの民がエジプトに来たんじゃないかといわれています。出エジプトが起こるのは前13世紀前半ですから、それからしばらく経ってのことです。

エジプト考古学博物館へ行くと、彼のお墓から出てきたいろんな財宝が並べられています。「トゥトアंकアメン」(ツタンカーメン)はどういう意味ですか、とガイドさんに聞いたら、こういう意味だと教えてくれました。「アモン神」の生ける姿という意味だそうです。アモン神とはエジプトの神々の中の一人です。日本語でいうと現人神ですね、と教えてくれました。昔の天皇みたいなものです。

博物館には、ツタンカーメンが使っていた杖というのが陳列されていて、これにちょっと注目したのです。この杖の右側は南アフリカ系の奴隷の姿が彫刻してあります。左側はアジア系の奴隷の姿が彫刻されている。よく見てみると両方とも縄で足が縛られているし、腕のところも縛られ、手も縛られています。これ(杖)を手に持って反対側の一番下(接地面)になるところは印鑑みたいなものが付いています。つまり、手でもって奴隷を掌握する、これが王様の繁栄の秘訣だった訳です。エジプトという国は、いかに奴隷を掌握してうまく国を繁栄させるかを考える、そういう世界であったということ象徴的に物語っているのではないかと思います。

*奴隷の家(抑圧のピラミッドシステム)

当時のエジプト、聖書は「奴隷の家」(出エ20・2他)という風な言い方をしています。奴隷の家では分かりにくいので「抑圧のピラミッドシステム」と名付けてみました。

一番上にはたくさんの神々があります。日本も神々(八百万の神)がいるように。神々はお互いに仲良しなんですね。けんかしたり結婚したり、当然話もする。ファラオはその中の生ける姿ですから、その神々と自由にお話ができる。だからファラオは神様のご託宣を述べることができるということになります。そのファラオを支えていたのが神官です。ツタンカーメンは神官とうまく行かなかったそうです。けんかしていたそうです。それ以外に軍隊もあります。支配のために使ったのは巨大な建築物——ピラミッド、神殿、——それから絢爛豪華な祭典、来世信仰、こういったものを使って支配を強固なものにして行った訳です。

ファラオの下に貴族がいました。貴族は大体地主です。それから平民。平民とは土地なし農民です。それから奴隷。これが移住者で、そこにイスラエルの民が入っていた訳です。イスラエルの民が、先ほどの聖書に書いてあったように、苦しんでいたその原因は何かということを、10個ぐらいあげてみます。

(次号へ続く)

委員会等報告

2010年6月分

6月度小教区委員会

6月6日

1、前委員会の議事確認

- ・5月2日(日)小倉教会にて信徒協主催の平和の集い(8月8日)実行委員会開催。当日はバス(28人乗り)を予約済み
- ・教会維持費納入についてのお願いを準備中(6月中に発送予定)

2、先月の行事報告

- ・5月16日(日)信徒総会—75名参加。信徒館での宿泊について、追加料金を取らないことを決定した。

(信徒総会に関連して)

- ・十字架像の寄付金の掲載される「収入欄」と「支出欄」の喰い違いは、教区指定の区分を用いるとそのようになった。
- ・予算の中長期的展望について次の様なさまざまな意見が出た。
- ・信徒数は中長期的に減る。その方策について、多くの意見を寄せて貰うべきだ。
- ・納骨堂購入費の一部を一般会計に使うのはどうか。
- ・駐車場基金は全員に払って貰うので、一般会計に置いてはどうか。
- ・納骨堂購入費も駐車場基金、建設献金等を統一して、営繕費目を拡大した様な(土地および建設等)基金にしてはどうか。(一般会計とは異なるもの)

3、議題

- 1) 維持費袋の仕様：駐車場代の小袋を廃止し、1枚の用紙(小紙片)に書き込む様に。

- 2) 営繕：建築上の次の問題点が述べられ、対策が講じられる予定

- 信徒会館とテラスのつなぎ目の隙間の補修
- 教会玄関のパイプ柱の腐食(要検査?)
- スロープのつなぎ目の天井周りの状態
- 玄関等の泥落としマットの交換
- 聖堂2階の水道の設置(お花を活けるため又掃除等で必要)
修理には信徒の協力の申し出もある。

4、各委員会から

- (営繕から)信徒会館の火災報知機のバッテリー交換終了、信徒会館のエアコン、洗浄工事完了
- (広報から)「からしだね」にて、小グループの紹介(輪番)を開始。協力願う。

5、その他

資源ごみの分別廃棄容器(予定段階)

6、これからの主な活動予定

- * 納骨堂利用者の会合 6月27日
- * 黙想の家で祈り語り合う集い(第二回)
6月27日 14:00より
- * 北九州平和の集い 8月8日 「今、私達に出来ること。築こう平和を足元から。」
13時~16時
「平和の集い」：講話は援助修道会 Sr. 山本紀久代 小倉で共同のミサはなし。
- * 8月29日(日)ワックス掛け及び駐車場草刈等 予定

2010年度 第3回 典礼委員会議事録

開催日時：2010年6月16日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：松尾、安永、山本、三谷、柴田、矢田、

《報告事項》

1. 第10回北九州平和の集い 8月8日(日) 13:00~16:00

第1部 (午前) 平和祈願ミサ・・・各教会で

第2部 (午後) 平和の集い・・・小倉教会

テーマ：いまわたしたちにてできること、築こう平和を 足元から

2 第2回「黙想の家で祈り、語りあう集い」6月27日(日) 14:00

テーマ：社会の中でのわたし(自分)の生き方

《審議事項》

1 平和の集いについて

<水巻教会での事前準備>

- ・「世界各地の地震被災者」への献金(カリタスジャパンを通して送金)
- ・7月の聖歌予定に「平和の集い」での歌を拝領の歌に取り入れて練習する。
- ・「平和のための祈り」(別紙)は、7/4~8/8まで、聖体拝領後に唱える。

<第1部小教区ミサでの申し合わせ項目・教会学校関係者へ連絡>

- ・前年の参加者が書いた平和を求める短冊を7月のミサ中共同祈願で唱える。
- ・ローソク、平和の短冊を台紙(模造紙)に貼って奉納する(子ども2人)
- ・折り鶴または霊的花束を作って奉納する(子ども1人)
- ・当日、会場で共同祈願を唱える(子ども1人)

<第2部「平和の集い」会次第>

13:10 私たちの取り組み紹介(6グループ)

13:50 講話「核の無い世界を目指して」Sr.山本紀久代(援助修道会)

14:30 交流タイム

15:10 講話についての質問感想など

15:30 平和祈願・奉納 平和の祈り 16:00 終了・後かたづけ

子ども広場あり・・・開場 11:30 カレーライス 150食(200円)

2 第2回「黙想の家で祈り、語りあう集い」会次第

- ・受付(柴田香菜さん) *参加費(300円)は、信徒のみ徴収する。
- ・来住英俊神父様の話(約30分)・振り返り(約10分)・ティータイム(約10分)
- ・分かち合い(約40分) 司会：田中拓さん、シスター上野 ・聖堂での祈り

謝礼：来住神父様(7,000円) シスター2名の交通費(3,000円)

次回予定 7月14日(第2水曜日) 19時30分 信徒会館



子どもたちへのページ
せかいじゅう ひと なかよ
世界中の人と仲良くすること No.2

ぜんかい おおむかし にほん き ひと はなし
前は 大昔に日本に来た人の話でし
たが、^{こんかい}今回はその後の話です。

なら みやこ ちゅうごく とう
奈良の都ができるころ、中国は唐とい
う王朝が支配していました。唐の都は
ちょうあん まち いま せいあん よ
長安という町でした。今は西安と呼ばれ
る町です。ここには唐の時代に作られた
りっぱ しろ へい たか
立派な城の塙があります。高さが30メ
ートルくらいで幅が50メートルもある
じょうへき じま のこ
城壁が10キロメートルも今も残ってい
ます。この町に日本から遣唐使という人た
ちが国の命令で行きました。

いま ちゅうごく しゅとべきん
ここまでは、今の中国の首都北京から
ひこうき じかん ちゅうごく みなと
飛行機で2時間かかります。中国の港に
ついてからも1ヵ月以上旅をしないと着か
ない遠い都です。

なら みやこ ちょうあん みなら つく
奈良の都は、この長安を見習って作ら
れました。その後^{あと}に作られた^{きょうと}京都も同じよ
うに作られました。町の道^{まち}を北から南へ
と西から東へとまっすぐに作ったのです。
これを碁盤目^{ごばんめ}といいます。

とう じ わたし だれ し
唐という字から、私たちが誰でも知っている
にほんご
日本語があります。

いちばん
一番わかりやすいのは「トウガラシ」で
す。漢字で書くと「唐辛子」と書きます。唐
つた
から伝わったものです。とうがらしは、
ねん まえ にほん ちょうせんはんとく
500年くらい前に日本から朝鮮半島に
つた
伝えられました。韓国のキムチは辛いので

すが、これに入っているとうがらしは日本
から伝わったものなのです。唐からは
ぶっきょう ゆうめい ぼう にほん き
仏教の有名なお坊さんも日本に来ました。

ねんだい お ちょうせんはんとく
1500年代の終わりに、朝鮮半島
からたくさんの焼き物を作る人が日本に来
ました。日本が朝鮮半島に向かって戦争
をしたときに連れてきたのです。連れてこら
れた人が佐賀県の有田町の近くで焼き物に
つか いし ほっけん
使う石を発見しました。そのために今も
佐賀県ではたくさんの焼き物が作られるよ
うになりました。鹿児島島の焼き物とか
こいしわら や もの ちょうせん ひと はし
小石原の焼き物など、朝鮮の人たちが始
めた焼き物が一杯あります。それまで日本
は焼き物を中国から買っていましたが、そ
の後は外国にたくさん輸出する国になり
ました。

にほん きょう つた おな
日本にキリスト教が伝えられたのも同
じ頃です。フランシスコ・ザビエルが日本に
キリスト教を伝えたことは学校でも習い
ます。

ご めいじ じだい がいこく
その後、明治の時代になって外国から、
てつどう でんわ じどうしゃ にほん き
鉄道や電話や、自動車^{にほん}が日本に来ました。

わたし くに じぶん りっぱ くに
私たちの国は、自分たちだけで立派な国
になったのではありません。たくさんの国
の人から助けられて、それをもとに勉強
して工場などができたのです。



教会学校のページ



6月13日

1・2年生

○ルカ福音書9章11～17を読みました。

○ご聖体についてのお話をしました。

○「ありがとう」の歌を歌いました。

○イエス様がお喜びになることで自分がしていることを絵にかきました。

3・4・5・6年生

6月はイエス様の御心の月ということで、神学生が「イエス様がバラのとげが刺さった心臓を手に持っていらっしゃる絵」を紹介してくれました。

子ども達はハートの形を絵にかき、その中にイエス様が喜ばれることをそれぞれ絵や文でかきました。



7月の予定

☆7月11日 教会学校

☆7月24日(土) (予定)

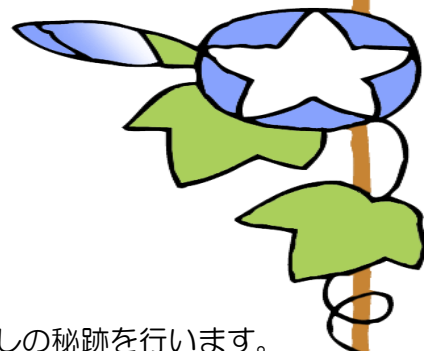
今村教会巡礼訪問

9時30分 教会出発

4時頃 教会到着予定

※ 弁当はまとめて注文します

※ 今村教会で、子どものミサ・ゆるしの秘跡を行います。





★納骨堂利用者の皆さんへ★

納骨堂管理費を納める封筒は、聖堂後ろの維持費の封筒を入れる棚の所に、まとめて入れてあります。その中から自分の封筒を取って使ってください。

★子どもの巡礼訪問★

日 時：7月24日(土)
9時30分 出発
4時 到着予定
場 所：今村教会
子どものミサ・ゆるしの秘跡
※弁当はまとめて注文します。

★平和の集い 第2部★

日 時：8月8日(日) 13時～16時
場 所：小倉教会
内 容：講話(Sr. 山本紀久代) 交流
平和祈願・奉納・平和の祈り
※第1部は8月8日の各小教区でのミサで行います。
(詳しくは5面に載っています)



【転入】ようこそ、水巻教会へ
◇ 池尻 實さん
広島教区松江教会より高須・青葉地区へ

=====
	聖書への案内 No.12 列王記	
	イスラエル・ユダ両王朝の興亡史です。この書は預言者的・申命記的史観から記述	
	されたものです。歴史的な価値が大変高い書です。	
	この書はダビデ王が老いて死を迎えることから王権争いの場面から始まります。そ	
	して2章ではダビデ王が死にます。	
	ソロモンはその後を継いでゆるぎない王権を確立します。	
	その後のエルサレムは繁栄しますが、ソロモンはエルサレムに神殿を築きます。そ	
	の膨大な神殿建設工事の詳細も書いてあります。	
	ソロモンの死後王朝は南北に分裂してしまいます。そして最初に北の王国・イスラ	
	エル国がアッシリアに滅ぼされ、人々は連れて行かれます。これが捕囚の始まりです。	
	この時アッシリアは連れて行ったイスラエルの民の土地にアッシリアの人たちを入	
	れてしまいました。この時からイスラエルの民と外国の民との混血が始まり、この地	
	方はサマリヤと呼ばれるようになります。	
	その後、南の王国・ユダ国がアッシリアの後に誕生したバビロニアによって滅ぼさ	
	れ、最後の捕囚が始まります。	
	この時にエルサレムの神殿が破壊され、中にあった宝物はすべてバビロニアに略奪	
	されてしまいました。この後から、モーゼに与えられ、大切に神殿に保管されていた	
	聖櫃の行方が分からなくなりました。	
 =====